

椅子テーマの写真40点

作品の前に「年を取ると座る時間が長くなる」と話す鵜久森典妙さん＝神戸市兵庫区神田町



映画プロデューサー鵜久森さん

きょうから展示

西宮市在住のドキュメンタリー映画プロデューサー鵜久森典妙さん(72)の写真

展「どっこいしょ」が1日、神戸市兵庫区神田町の「いちばぎやらしい侘香」で始まる。

鵜久森さんは、知り合いのカメラマンから一眼レフを譲られたのを機に、日常の風景をさまざまな視点で切り取り、2005年から毎年写真展を開いている。

今回のテーマは「椅子」。「あまり見なくなつた路地裏の縁台から発想した」といい、タイトルは映画にもなつた遠藤周作氏の小説から借りた。

下町の市場の隅に置かれた腰掛けや海辺のベンチ、なじみの映画館のシートや古本屋の丸椅子などA3判の40点が並ぶ。想像をかき立てる無人のイメージに、鵜久森さんは「自分が座るつもりで見てもらえれば」と話している。

13日まで。無料。8日は午後1時半から映画「井上陽一の世界」の上映がある(500円)。いちばぎやらしい侘香☎078・361・5055

(田中真治)